

ジェームズ・ジャック 32歳



1979年1月19日 ニューヨーク市生まれ。
ホノルル市在住。

【学歴】

2001年 サラローレンス大学文学士卒業
2008年 東京藝術大学（油画）研究生
2008年 スタンフォード大学日本研究センター
2011年 ハワイ大学大学院（美術と美術史
学部）修士課程修了



作品タイトル「Natura Naturata」
土、岩、顔料インスタレーション
6 x 5 m 2010

©James Jack

【主な活動歴等】

受賞歴（抜粋）
2007-08年 太平洋研究奨学金（ハワイ大学）
2008-10年 皇太子明仁親王奨学金（東京）
個展（抜粋）
2006年 「Juglandaceae Origins」 TAMA画廊 ニューヨーク市
2007年 「Needlographies」 Beppu-Wiarda画廊 オレゴン州
2008年 「Meditations in Ink」 TAMA画廊 ニューヨーク市
2010年 「Lunar Reflections」 Gallery K 東京
グループ展（抜粋）
2004年 「Butternut Ink」 アジアアメリカ・アートセンター ニューヨーク市
2006年 「Art:Intime」 スミ画廊 ニューヨーク市
2007年 「Vitamin W」 City Without Walls ニュアコ・ニュージャージー
2007年 「漢字ビエナーレ」 クアートセンター 北京
2010年 「Story of the Island」 香川県小豆島

【レジデンスでの主な活動予定】

- このレジデンスプロジェクトでは、場所とストーリーに基づいて、「ストーリード・ランドスケープ」というテーマで制作したい。市民とコラボレーションしながら地方の素材を使用して制作をしていきたい。最初は小豆島の土と岩と砂に触れ、経験と研究を行いたい。
一か月目に新しい天然のものを採ってアトリエに集めて作品を実験する。以前のプロジェクトに参加した市民と話しをして、その他の市民とも触れ合って反応を見る。二か月目に制作の実験から素材を選び、新しいドローイングや写真を制作する。去年の展示場所を考察し、香川県の方々と相談して黒島倉庫の庭を綺麗に作り直す。三か月目は天然素材から顔料を作って、紙や屋外の場所やアトリエの床に直接その顔料を使って実験を行う。四か月目に展示の準備をして、今まで関わってきた方々を誘って作品発表する。
作品の形態と場所は実際に小豆島に行ってから決める、サイト・スペシフィック（その場所のためにあること）という方法で制作と展示をしたい。この計画は小豆島の特徴を含めて昨年の経験をさらに広げ、芸術が町作りの一部であることを示すという大きな目的を持つ。

【招へい期間】

9月20日(火)～12月末予定

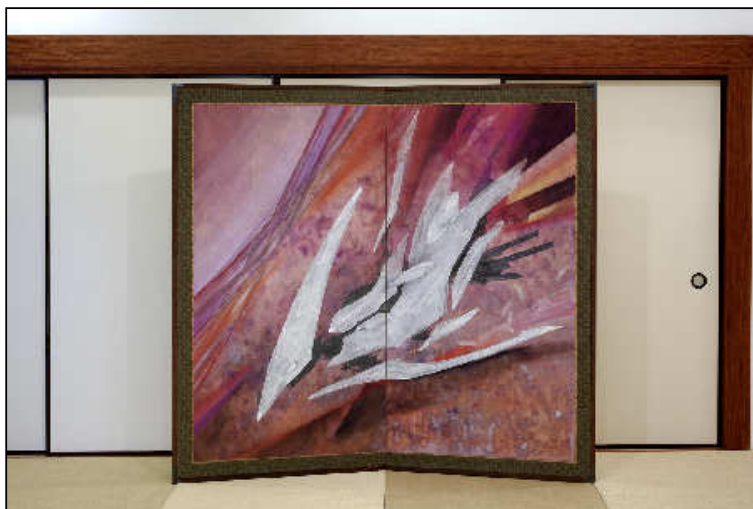
松永 龍太郎（まつなが りゅうたろう） 34歳



1977年7月7日 東京都生まれ。
東京都在住。

【学歴】

2004年 東京藝術大学美術学部絵画科
日本画専攻卒業
2006年 東京藝術大学大学院美術研究科
修士課程デザイン専攻修了



作品タイトル「Vector-X」
二曲一隻屏風/和紙/膠/岩絵具・水干・墨・アクリル・箔・金泥

172 x 186 cm 2010

©Ryutaro Matsunaga

【主な活動歴等】

2007年 「レスポワール展」銀座スルガ台画廊 東京
「ShinPA」おぶせミュージアム 長野
佐藤美術館 東京
2008年 個展 ギャラリーショアウッド 東京
2009年 個展 Gallery Q 東京
2010年 「ガロン」第1回展 公益財団法人野村財団
助成 瑞聖寺ZAPギャラリー 東京

【レジデンスでの主な活動予定】

- この度のレジデンスでしか成し得ない、創作活動を模索しております。
自然や歴史、建物など、島のことをより知るための取材活動を積極的に行い、その成果を活かしながら作品と島の環境が一体となり、一つの場を形成するような取り組みをしたいです。
これまでの自分の作品テーマを通して考えることによって、島の新たな側面を発見し、これからの創作の可能性を広げられればと思います。
- [ワークショップ]
日本画素材など普段触れることのない素材と身近にある素材を組み合わせて使い、楽しんでもらえるような企画を考えております。

【招へい期間】

9月1日(木)～12月末予定

吉田 夏奈（よしだ かな） 36歳



（顔写真撮影者 田村邦彦）

1975年8月6日 東京都生まれ。
東京都在住。

【学歴】

2002年 広島市立大学芸術学部デザイン
工芸学科卒業



作品タイトル 《Beautiful Limit-果てしなき混沌への冒険》

クレヨン、オイルパステル、紙、木製パネル

91.0 x 60.5 cm (各), サイズ可変 2010 ©Kana Yoshida

【主な活動歴等】

主な個展

- 2006年 アーティスト・イン・レジデンス・プログラムに参加，ロサンゼルス
- 2007年 「For the Love of Beer」，T.Y.Harbor Brewery，東京
- 2009年 アーティスト・イン・レジデンス・プログラムに参加，フィスカルス，フィンランド
- 2010年 「TWS Emerging148」，トーキョーワンダーサイト本郷，東京
- 2011年 東京オペラシティ アートギャラリー Project N44

【レジデンスでの主な活動予定】

- この約2年間、クレヨンによる線画の技法で、一步一步歩いた道のりを彷彿させる様に岩場等の地形を具体的に表現するパノラミックな風景画を制作して来た。今回小豆島レジデンス期間では、風景を立体化させ、独立した立体としての風景作品を考察したい。つまり絵の場合、立体として存在するものを2次元に落とし込んでいるのだが、それを3次元に逆構築するという挑戦である。島という地形は風景を個体として捉えられるような縮図的立体な要素があり、以上の考察をする上で非常に適した場所と考えている。

【招へい期間】

9月15日(木)～12月末予定